

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いきいきサポートセンターコスモス館		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 4日 ～ 令和8年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	10
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 4日 ～ 令和8年 2月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員が自閉症スペクトラムに関連する強度行動障害の子供たちのための特別な研修を受けていることで、対応のスキルがあること。	こだわりや、奇声、常同行動に関して職員が、対応の振り返りを行って、適正なかかわりを共有している。	職員のスキルを上げるために系統的に研修に参加できるようにしている。研修で学んだことを共有できるようにミーティングを活用する。
2	学習教材が充実しているので、どんな子供にもあった教材を提供できる。	手づくりの教材が多い。創作や音楽など多様に工夫している。	子どもたちが集中して取り組めるプログラムを作る。
3	行動障害のある子供に理論に基づいた戸外歩行を取り入れ、行動リズムを整えるようにしている。落ち着いて机に座る、待てるなどの行動の変容が見られている。	集団に慣れていない子供が、スムーズに入れるように、歩行、集団を使っているが、効果が大きい。	個別の支援と同時に、集団の力、グループダイナミックスを使って相乗効果が出利用に研鑽を積み。独自のプログラムで療育をしたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者が少ないため、児童指導員専任の確保が難しい。	放課後等デイサービスの増加により、待っていれば来る、という時代は終わった。	事業所の特徴、魅力を知ってもらうために、インスタやホームページを使う。選ばれる事業所を目指したい。
2	学年の幅が多いので、ニーズが違うので、発達段階にあったグループ分けなどが難しい。	高校生と小学1年生と一緒に活動している。良い面はあるが、年齢や能力相応に対応が難しい時もある。	個別の対応、年齢に応じたプログラム、年齢関係なく楽しめるプログラムなどを工夫する。
3	地域の普通小中学校のニーズを受け切れていない。	受け入れるという周知が不足している。	地域、市担当課、教育委員会等との連携を行いたい。